

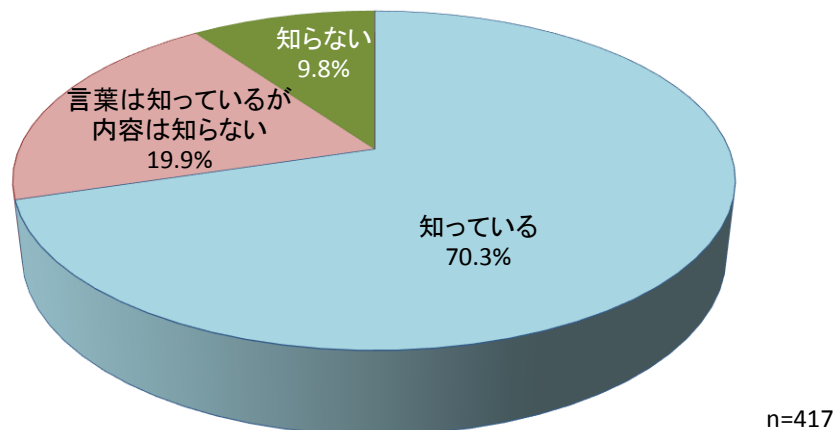
8. 道路の無電柱化の推進に対する市民意識について

(1) 「無電柱化」の認知度

◇ 「知っている」が約7割

問28	電線を地下に埋設することなどの方法により道路上の電柱または電線を撤去する「無電柱化」について知っていますか。	(○は1つ)
		n=417
1	知っている	70.3%
2	言葉は知っているが内容は知らない	19.9%
3	知らない	9.8%
	(無回答)	0.0%

<図IV-8-1>全体



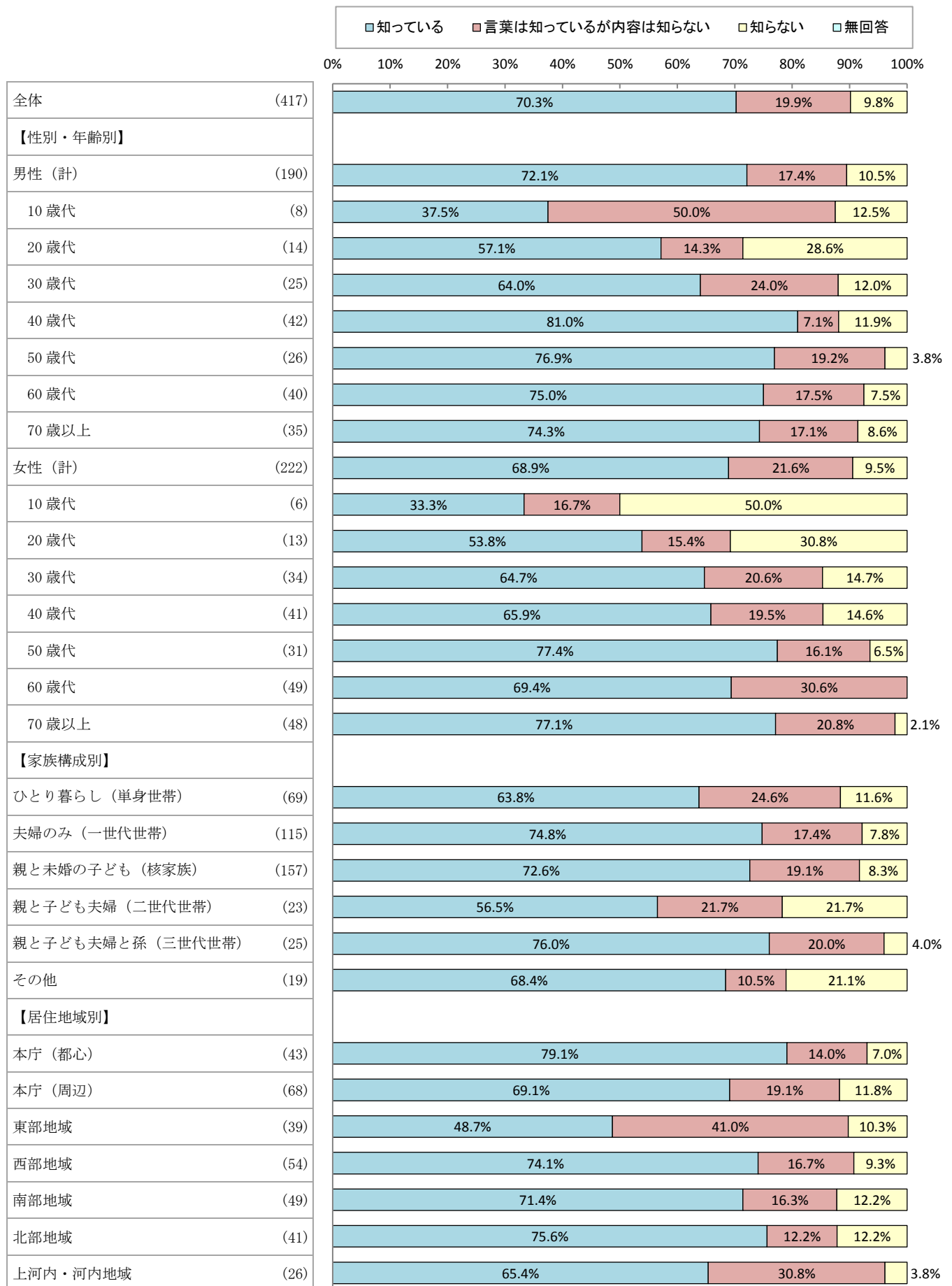
道路の無電柱化の推進に対する市民意識については、「知っている」が70.3%で最も高く、次いで「言葉は知っているが内容は知らない」が19.9%、「知らない」が9.8%と続いている。(図IV-8-1)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<男性/40歳代>が81.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が77.4%と続いている。一方、「知らない」は<女性/10歳代>が50.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が30.8%であった。(図IV-8-2)

家族構成別でみると、「知っている」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が76.0%で最も高かった。一方、「知らない」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が21.7%で最も高かった。(図IV-8-2)

居住地域別でみると、「知っている」は<本庁(都心)>が79.1%で最も高かった。一方、「知らない」は<南部地域><北部地域>が12.2%で最も高かった。(図IV-8-2)

<図IV-8-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

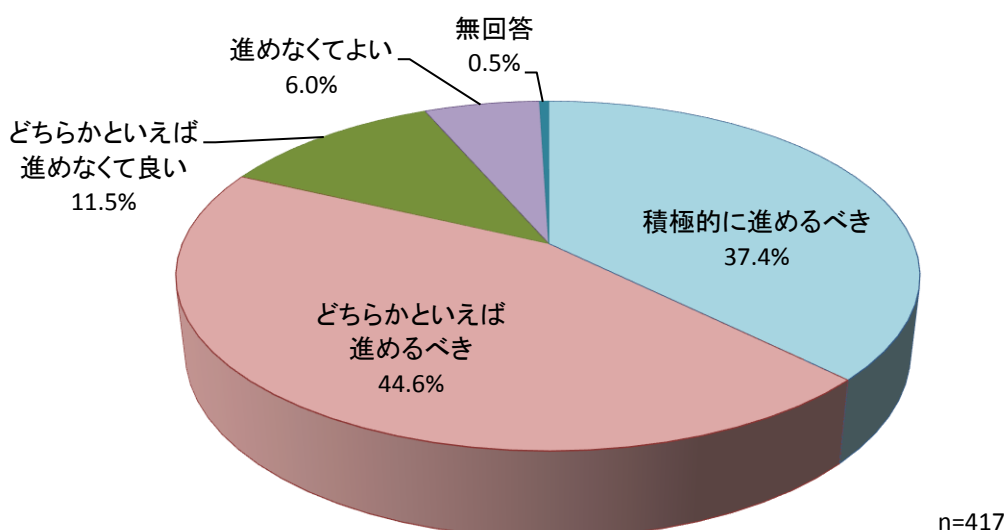


(2) 「無電柱化」の必要性

◇ 「積極的に進めるべき」と「どちらかといえば進めるべき」を合わせた【進めるべき(計)】が8割強

問29	宇都宮市は、道路の無電柱化を進める必要があると思いますか。	(○は1つ)
		n=417
1	積極的に進めるべき	37.4%
2	どちらかといえば進めるべき	44.6%
3	どちらかといえば進めなくて良い	11.5%
4	進めなくてよい	6.0%
	(無回答)	0.5%

<図IV-8-3>全体



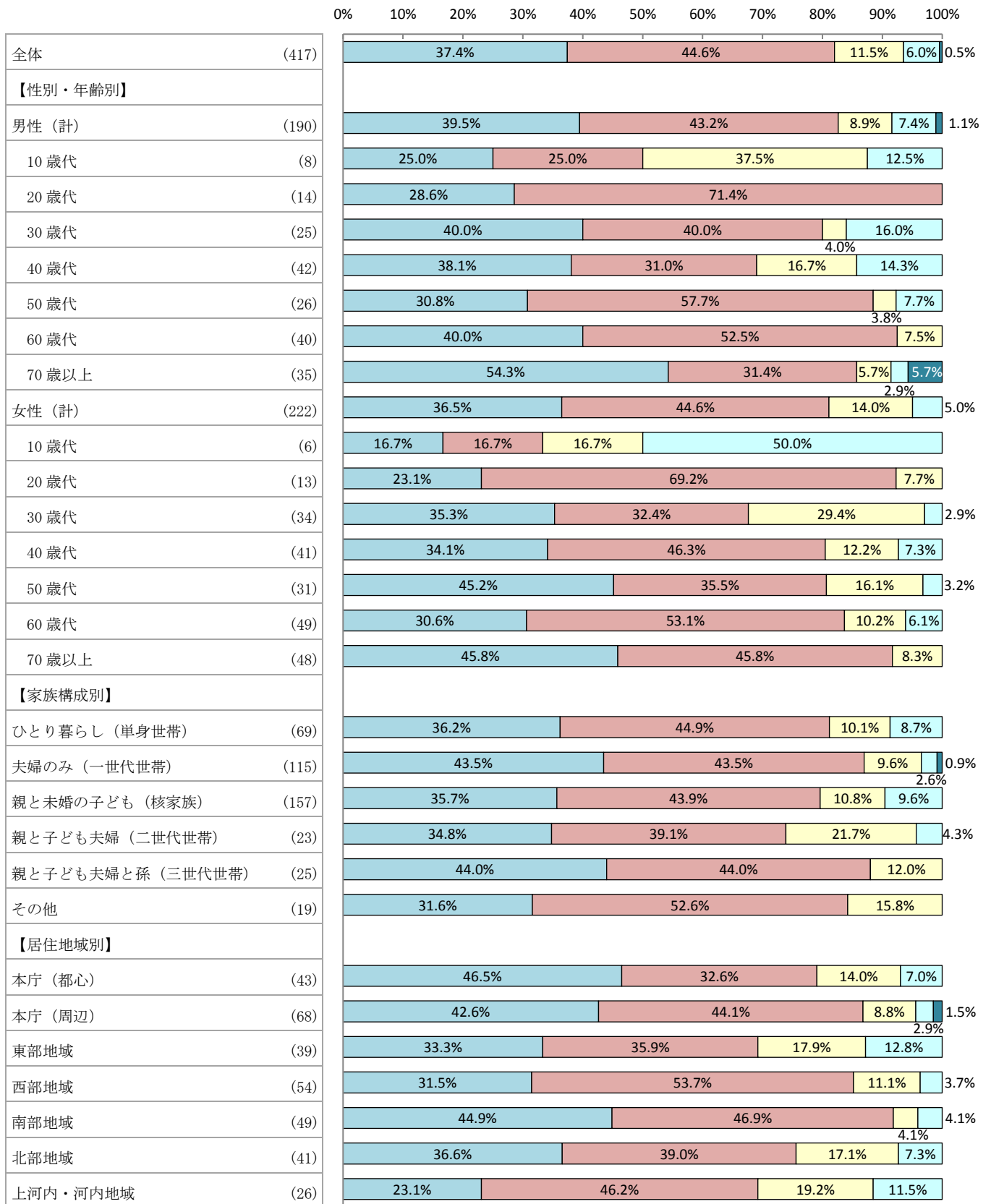
「無電柱化」の必要性については、「積極的に進めるべき」が 37.4%、「どちらかといえば進めるべき」が 44.6%で、これらを合わせた【進めるべき(計)】は 82.0%であった。一方、「進めなくてよい」6.0%、「どちらかといえば進めなくて良い」11.5%で、これらを合わせた【進めなくてよい(計)】は 17.5%であった。(図IV-8-3)

性別・年齢別でみると、【進めるべき(計)】は<男性/20歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が 92.5%、<女性/20歳代>が 92.3%と続いている。一方、【進めなくてよい(計)】は<女性/10歳代>が 66.7%で最も高く、次いで<男性/10歳代>が 50.0%であった。(図IV-8-4)

家族構成別でみると、【進めるべき(計)】は<親と子ども夫婦と孫(三世帯)>が 88.0%で最も高かった。一方、【進めなくてよい(計)】は<親と子ども夫婦(二世帯)>が 26.0%で最も高かった。(図IV-8-4)

居住地域別でみると、【進めるべき(計)】は<南部地域>が 91.8%で最も高かった。一方、【進めなくてよい(計)】は<東部地域><上河内・河内地域>が 30.7%で最も高かった。(図IV-8-4)

<図IV-8-4>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別



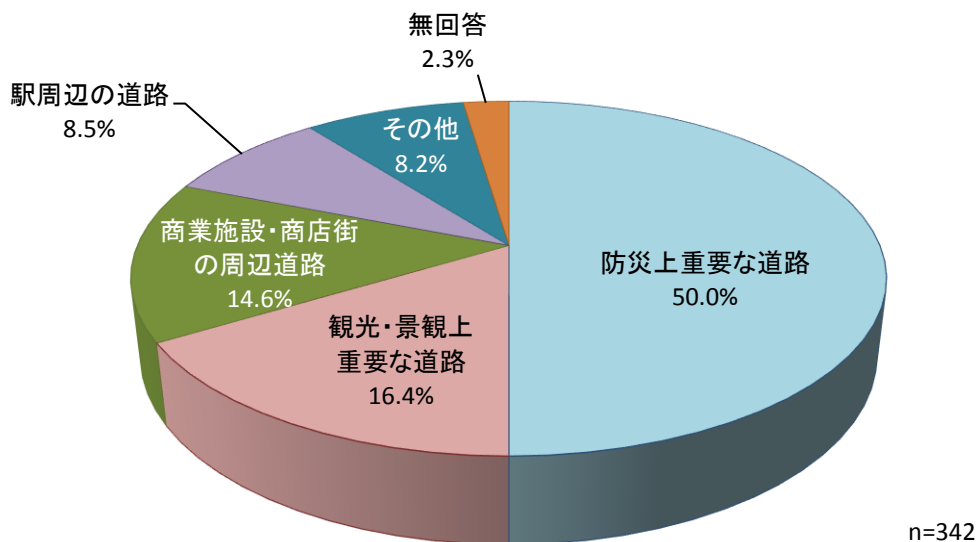
(3) どのような道路の「無電柱化」を優先的に進めるのか

◇ 「防災上重要な道路」が5割

問30 問29で「①積極的に進めるべき」「②どちらかといえば進めるべき」と答えた方にお聞きします。市内のどのような道路の無電柱化を優先的に進めた方がよいと思いますか。(〇は1つ)

	n=342
1 防災上重要な道路	50.0%
2 観光・景観上重要な道路	16.4%
3 商業施設・商店街の周辺道路	14.6%
4 駅周辺の道路	8.5%
5 その他	8.2%
(無回答)	2.3%

<図IV-8-5>全体



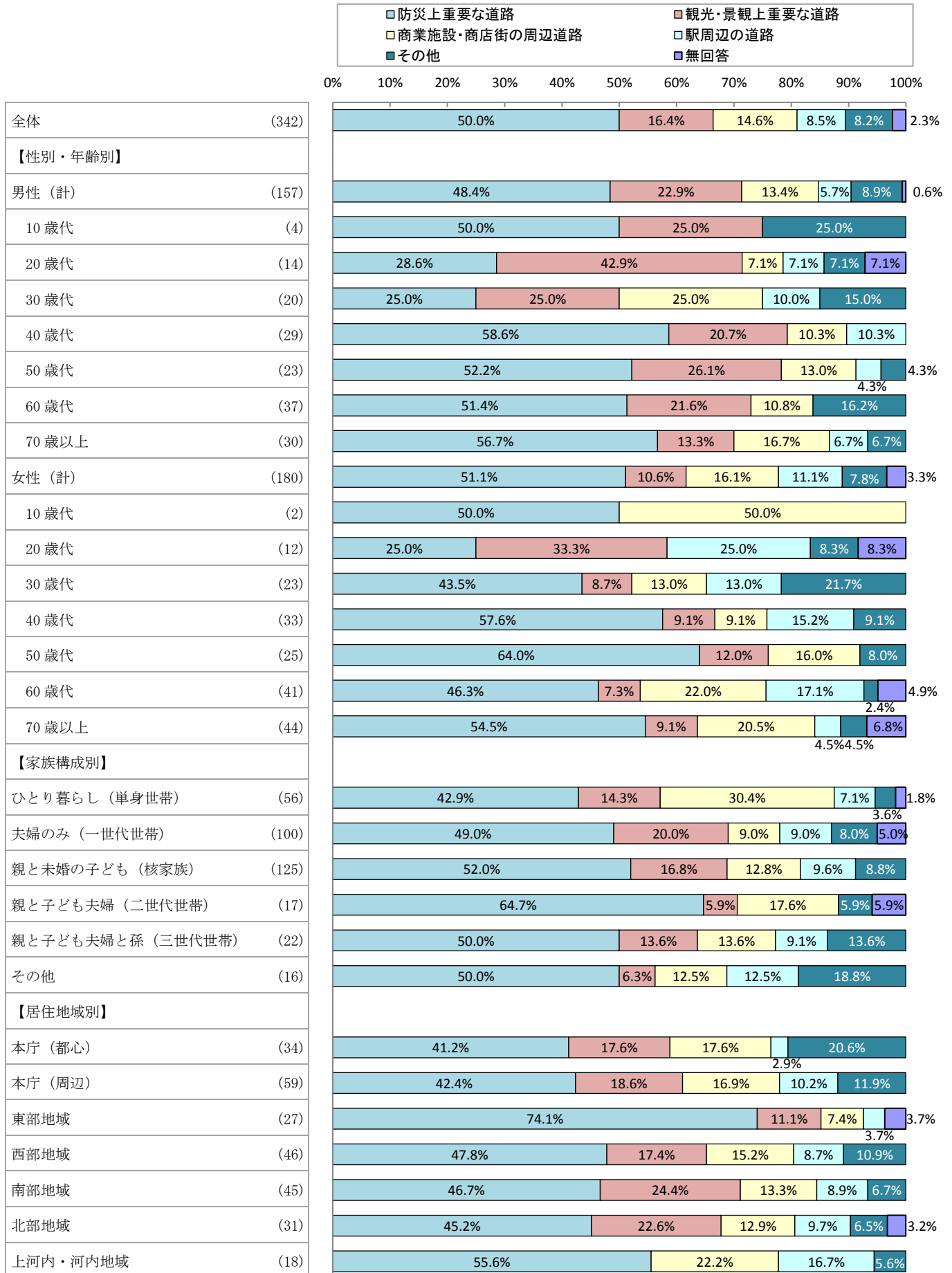
どのような道路の「無電柱化」を優先的に進めるのかについては、「防災上重要な道路」が50.0%で最も高く、次いで「観光・景観上重要な道路」が16.4%、「商業施設・商店街の周辺道路」が14.6%と続いている。(図IV-8-5)

性別・年齢別でみると、「防災上重要な道路」は<女性/50歳代>が64.0%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が58.6%と続いている。「観光・景観上重要な道路」は<男性/20歳代>が42.9%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が33.3%であった。(図IV-8-6)

家族構成別でみると、「防災上重要な道路」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が64.7%で最も高かった。「観光・景観上重要な道路」は<夫婦のみ(一世帯世帯)>が20.0%で最も高かった。(図IV-8-6)

居住地域別でみると、「防災上重要な道路」は<東部地域>が74.1%で最も高かった。「観光・景観上重要な道路」は<南部地域>が24.4%で最も高かった。(図IV-8-6)

<図IV-8-6>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

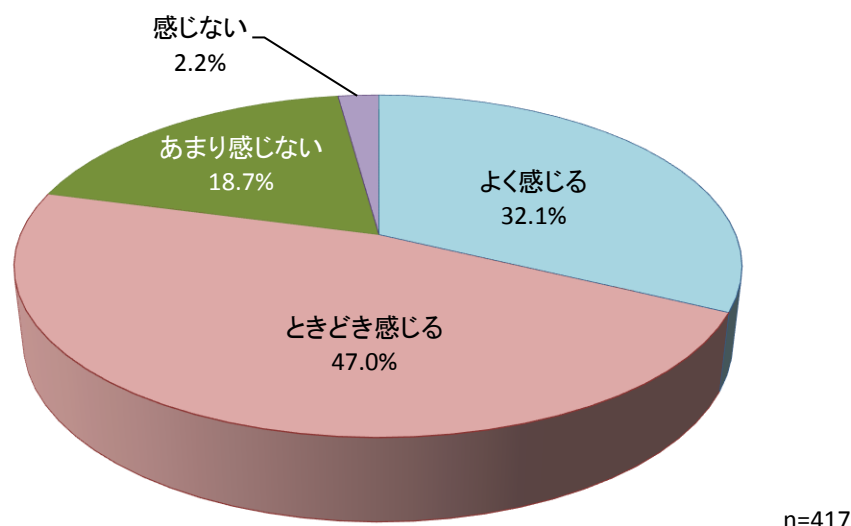


(4) 道路上に電柱があることで、通行時に支障・危険を感じたことはあるか

◇ 「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた【感じる(計)】が約8割

問3 1 道路上に電柱があることで、通行等に支障を感じたことや危険を感じたことはありますか。		(○は1つ)
		n=417
1	よく感じる	32.1%
2	ときどき感じる	47.0%
3	あまり感じない	18.7%
4	感じない	2.2%
	(無回答)	0.0%

<図IV-8-7>全体



道路上に電柱があることで、通行時に支障・危険を感じたことはあるかについては、「よく感じる」が32.1%、「ときどき感じる」が47.0%で、これらを合わせた【感じる(計)】は79.1%であった。一方、「感じない」が2.2%、「あまり感じない」18.7%で、これらを合わせた【感じない(計)】は20.9%であった。(図IV-8-7)

性別・年齢別でみると、【感じる(計)】は<男性/70歳以上>が91.5%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が90.0%と続いている。一方、【感じない(計)】は<男性/50歳代>が38.4%で最も高く、次いで<女性/60歳代>が30.6%であった。(図IV-8-8)

家族構成別でみると、<その他>を除くと、【感じる(計)】は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が88.0%で最も高かった。一方、【感じない(計)】は<その他>を除くと、<親と未婚の子ども(核家族)>が21.7%で最も高かった。(図IV-8-8)

居住地域別でみると、【感じる(計)】は<北部地域>が87.8%で最も高かった。一方、【感じない(計)】は<東部地域>が30.8%で最も高かった。(図IV-8-8)

<図IV-8-8>性別・年齢別／家族構成別／居住地域別

